

令和4年度

四万十町教育委員会

自己点検・自己評価

【資料】

令和5年9月

四万十町教育委員会

目次

1	教育委員会の活動	1
(1)	教育委員会の会議の運営改善	
①	教育委員会会議の開催	
(3)	教育委員の自己研鑽	
①	研修会への参加状況	
(4)	学校及び教育施設に対する支援・条件整備	2
①	学校訪問	
②	所管施設訪問	
2	教育委員会が管理・執行する事務	3
(3)	教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。	
(7)	法第29条に規定する意見の申出に関すること。	4
3	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	5
(1)	学校教育に関すること。	
①	学力の定着及び向上	
I	教材、指導方法、指導形態の開発や改善	
1)	学力学習状況等調査（全国学力・学習状況調査、高知県学力定着状況調査、学力到達度把握事業（標準学力検査）の実施・分析	
2)	Q-U、hyper-QU（楽しい学校生活を送るためのアンケート）の実施・分析	
3)	外国語教育推進事業（GTEC スコア型英語4技能検定）	
4)	中高一貫教育推進事業（県指定事業・町単独予算事業）	6
5)	理科教育振興事業	
6)	教育研究活動	
7)	学習支援員配置事業	7
8)	夢・志を育む学級運営のための実践研究事業（夢プロ）の推進	
II	校内研究体制の確立及び校内研修の活性化	
1)	地域教育推進事業（校内研究支援事業）	
2)	県学校支援訪問等連携・支援（授業改善プラン訪問含む。）	8
III	学校経営の充実	
1)	定例校長会	
2)	学校運営協議会（コミュニティスクール）	
3)	働き方改革の推進	9
IV	小小・小中連携推進事業	
1)	小小・小中連携推進事業	
V	ICT（情報通信技術）機器の利活用等	
1)	ICT教育推進事業	

VI 開かれた教室・学校・教育委員会	10
1) 学校評価	
② 特別支援教育の推進	
I 適正就学の確立	
1) 就学指導事務（就学時検診・就学等教育支援委員会含む。）	
II 特別支援教育の推進	11
1) 特別支援教育支援員配置事業	
2) 教育相談員派遣事業等	
3) 特別支援教育就学奨励金給付事業	
③ 支援を要する子ども・家庭等への支援	12
I 教育相談活動の拡充	
1) 教育相談員活動	
2) スクールカウンセラー活用事業（県指定事業）	
3) 要・準要保護就学援助	
4) 奨学金	
II 教育支援センターの効果的運用、不登校児童生徒への対応・支援	13
1) 教育支援センター運営・企画	
III 各関係機関との情報共有・連携活動体制等の強化	
1) スクールソーシャルワーカー活用事業（県指定事業）	
2) 子ども支援ネットワーク活動	
④ 豊かな心と身体を育む教育の推進	14
I 人権教育の充実	
1) 「いのちの学習」推進	
2) 教育・福祉人材交流事業	
II 食育の充実・推進	
1) 食育の充実と推進	
2) 学校給食センター運営	15
III 道徳教育の充実	
1) 道徳教育の充実	
2) 学校図書館支援員の配置	
IV 国際理解・環境教育の推進	16
1) 外国語指導助手（ALT）活用事業	
V 体力の向上と学校保健教育の徹底	
1) 中学校部活動等補助金	
2) 体力運動能力等調査実施・分析（国・県調査含む。）	17
VI ふるさと教育の推進	
1) 地域教育推進事業（キャリアアップ事業）	
2) ふるさと教育の推進	

⑤ 児童生徒の安全確保の充実	18
I 安全管理	
1) 学校施設の整備	
2) 学校施設改築等計画	
3) 遊具の安全確保	
4) 通学対策	19
5) 通学路の安全確保（協議会の開催及び合同点検の実施）	
II 防災教育の充実	20
1) 防災教育推進事業	
⑥ 学校適正配置計画	
I 「四万十町立小中学校適正配置計画」の見直し及び実施	
1) 学校適正配置推進事業	
(2) 生涯学習に関すること	22
① 多様な学習活動の推進	
I 施設開放・学習機会の提供	
1) 文化講座（コミュニティー施設開放、各種教室・講座推進）	
2) 高齢者地域活動事業（シルバー大学）	
3) 人権教育推進事業	23
4) 国際交流促進事業	
5) 各種団体等への支援（補助金）	24
② スポーツ・レクリエーション活動の推進	25
I 施設開放・活動機会の提供	
1) 生涯スポーツ推進（社会体育施設等の開放、地域スポーツ競技普及、町民スポーツ大会、レクリエーション活動推進、競技スポーツ大会等）	
II 全国発信スポーツ大会の開催	26
1) 全国発信スポーツ大会の開催	
III 各種関係団体の活動振興、活性化の推進	
1) 生涯スポーツ団体等支援（補助金等）	
③ 郷土文化の継承と創造	
I 文化財の保存活用等	
1) 国・県・町文化財の保存・活用	
2) 重要文化的景観保護活用事業	27
II 伝承・伝統文化の継承支援	28
1) 郷土資料館の管理・運営	
④ 芸術文化活動の推進	
I 図書館・美術館の充実等	
1) 町立図書館・美術館管理運営事業	

⑤	子どもの健全育成の推進	29
	Ⅰ 乳幼児期の養護及び教育の充実	
	1) 町立保育所管理運営	
	2) 委託等による保育の実施	
	3) 多子世帯特定教育・保育施設使用料及び特定保育施設利用者負担金等軽減事業	30
	4) 幼児教育無償化	31
	Ⅱ 子ども・子育て支援対策	
	1) 子ども・子育て支援対策事業	
	2) 子育て支援センター管理運営	
	3) ファミリーサポートセンター	32
	Ⅲ 少年健全育成対策の推進	
	1) わんぱく学校	
	2) 子ども会・スポーツ少年団活動支援	33
	3) 青少年育成事業	
	Ⅳ 少年非行の早期発見と早期指導	
	1) 青少年育成補導（青少年育成補導推進事業）	
	Ⅴ 各種関係機関・地域等との連携	34
	1) 放課後子ども教室	
	2) 二十歳の集い（旧成人式）	
⑥	地域・家庭・関係機関等との連携活動充実	35
	Ⅰ 子ども・家庭の生活習慣の確立	
	1) 地域の子育て力強化事業	
	Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上	
	1) 学校支援地域本部事業（地域学校協働本部）	
⑦	学習環境の向上	
	Ⅰ 拠点となる施設の拡充等	
	1) 生涯学習拠点施設の活用	

この資料については、令和4年度四万十町教育委員会自己点検・自己評価報告書に記載した事項を補足するために取りまとめたものです。

そのため、報告書に記載している事項全てに係るものではなく、補足すべき事項を抜粋し作成しています。

1 教育委員会の活動

(1) 教育委員会の会議の運営改善

① 教育委員会会議の開催							
	教育委員会	開催日	審議した内容（議案等）				
			承認	議案	協議	報告	その他
定例会	4月定例会	4月 12日	4	2	2	4	
	5月定例会	5月 13日	4	3		3	3
	6月定例会	6月 7日	4	6			3
	7月定例会	7月 12日	2	2			7
	8月定例会	8月 9日		3	1	1	1
	9月定例会	9月 13日		4		3	4
	10月定例会	10月 11日		1		2	3
	11月定例会	11月 8日		8		2	1
	12月定例会	12月 6日	1	3	1	1	4
	1月定例会	1月 13日		7		4	2
	2月定例会	2月 14日	2	11		6	3
	3月定例会	3月 7日		12		3	
	臨時会	3月臨時会	3月 1日	1	3		
3月臨時会		3月 20日	2	5		1	
			20	70	4	30	31

(3) 教育委員の自己研鑽

① 研修会への参加状況		
	開催（実施）日	内 容
参加した 研修会等	4月 1日	校長・教頭・主幹教諭合同会
	4月 11日	高岡地区市町村教育委員会連合会 総会
	4月 25日	四万十町学校関係職員研修会
	7月 7日	高岡地区市町村教育委員会連合会 教育支援部会
	7月 8日	高岡地区市町村教育委員会連合会 教育委員夏季研修
	9月 29日	高岡地区市町村教育委員会連合会 教育支援部会
	10月 14日	高知県市町村教育委員会連合会 研修会
	10月 27日	第69回全国社会教育研究大会 広島大会
	10月 28日	令和4年度中国四国地区社会教育研究大会
	11月 8日	高岡地区市町村教育委員会連合会 教育委員秋季研修
	11月 22日	高岡地区市町村教育委員会連合会 教育支援部会
1月 13日	新任教育委員研修会	

参加した 研修会等	1月 27日	高岡地区市町村教育委員会連合会 理事会
	2月 6日	夢・志を育む学級運営実践研究事業 研修会
	2月 9日	高知県市町村教育委員会連合会 定期総会
	2月 20日	高岡地区市町村教育委員会連合会 教育支援部会
参加した 行事等	1月 2日	二十歳の集い
	3月 22日	令和4年度教育委員会表彰 授与式
(備 考)		

(4) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備

① 学校訪問		
実施日	訪問した学校数	内 容
6月 1日	小学校：2校、中学校：1校	教育長、教育委員、事務局職員（研究所及び学校事務支援室の職員を含む。）が各校を訪問し、授業参観、管理職等との「教科の学力・児童生徒の支援・組織力向上の取組」を中心とした協議等を行った。
6月 3日	小学校：2校、中学校：1校	
6月 22日	小学校：3校	
7月 6日	小学校：2校、中学校：1校	
9月 30日	小学校：3校	
(備 考)		
例年、出席していた「卒業式」、「運動会」、「体育祭」については、令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大に配慮し、出席しなかった。		

② 所管施設訪問		
実施日	訪問した施設	内 容
7月 25日	保育所：2園 旧小鳩保育所	教育長、教育委員、事務局職員（研究所の職員を含む。）が各施設を訪問し、所長等から運営等の概要説明を受けた。また、施設見学なども行った。
7月 29日	保育所：2園	
8月 2日	保育所：3園 子育て支援センター 教育研究所 少年補導センター	
8月 3日	保育所：2園	
8月 5日	保育所：1園 認定こども園：1園 学校給食センター	
(備 考)		
本年度は初めて、旧小鳩保育所を訪問し、図書・情報・集いの場として、また、園庭は地域の公園として活用されている状況を視察した。		

2 教育委員会が管理・執行する事務

(3) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。		
規 則 5本	教育委員会規則	制定した規則 : 1本
	令和5年第4号	独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金に関する規則
	教育委員会規則	改正した規則 : 3本(一部改正)
	令和4年第4号	四万十町立学校管理運営規則
	令和5年第1号	四万十町立学校給食センター管理規則
	令和5年第3号	四万十町教育研究所管理規則
	教育委員会規則	廃止した規則 : 1本
	令和5年第2号	四万十町こども支援センター規則
細 則 1本	教育長訓令	改正した細則 : 1本(一部改正)
	令和4年第9号	四万十町立学校管理運営規則施行細則
規 程 1本	教育長訓令	改正した規程 : 1本(一部改正)
	令和4年第8号	四万十町教育委員会教育長の権限に属する事務の一部を学校長等に事務委任する規程
要 綱 10本	教育委員会告示	制定した要綱 : 2本
	令和4年第15号	四万十町生涯読書活動推進計画策定委員会設置要綱
	令和4年第16号	四万十町学習用情報機器の貸与に関する取扱要綱
	教育長訓令	制定した要綱 : 2本
	令和5年第1号	四万十町立学校事務職員の標準的な職務の内容、その他事務職員の職務の遂行に関する要綱
	令和5年第2号	四万十町部活動改革推進委員会設置要綱
	教育委員会告示	改正した要綱 : 3本(一部改正)
	令和4年第1号	四万十町立小中学校の修学旅行中止等に伴う保護者負担支援補助金交付要綱
	令和4年第2号	四万十町中学生海外研修事業費補助金交付要綱
	令和4年第3号	四万十町放課後子ども教室開設事業実施要綱
	教育長告示	改正した要綱 : 2本(一部改正)
	令和4年第10号	四万十町学校教育振興事業及び生涯学習事業補助金交付要綱
	令和5年第5号	四万十町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱
	教育長訓令	廃止した要綱 : 1本
	令和5年第3号	四万十町運動部活動改革推進委員会設置要綱
要 領 1本	教育長告示	廃止した要領 : 1本
	令和4年第12号	四万十町スポーツ大会等参加支援事業に係る補助金交付要領
(備 考)		

(7) 法第29条に規定する意見の申出に関すること。

条 例	なし
予 算	6月議会 : 6月補正予算 9月議会 : 9月補正予算 12月議会 : 12月補正予算 3月議会 : 3月補正予算、令和5年度当初予算
工事請負契約	50,000千円以上のもの : なし
(備 考)	

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(1) 学校教育に関すること。

① 学力の定着及び向上

I 教材、指導方法、指導形態の開発や改善

1) 学力学習状況等調査（全国学力・学習状況調査、高知県学力定着状況調査）、学力到達度把握事業（標準学力検査）の実施・分析	予算額 1,001 千円	決算額 985,052 円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>全小中学校で全国学力・学習状況調査、高知県学力定着状況調査、標準学力検査を実施し、結果の分析をもとに学力の定着と向上の取組が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国学力・学習状況調査 : 令和4年 4月19日 実施 <ul style="list-style-type: none"> 中学校 3年生 : 国語、数学、理科 (3教科) 小学校 6年生 : 国語、算数、理科 (3教科) ・ 高知県学力定着状況調査 : 令和4年12月7・8日 実施 <ul style="list-style-type: none"> 中学校 1・2年生 : 国語、社会、数学、理科、英語 (5教科) 小学校 4年生 : 国語、算数 (2教科) 5年生 : 国語、算数、理科 (3教科) ・ 学力到達度把握事業 (標準学力検査) : 小学校 令和5年1月11・12日 実施 中学校 令和4年4月13・14日 実施 <ul style="list-style-type: none"> 中学校 全学年 : 国語、社会、数学、理科、英語 (5教科) 小学校 1・2年生 : 国語、算数 (2教科) 3年生 : 国語、算数、理科 (3教科) 4年生 : 理科 (1教科) 6年生 : 国語、算数、理科 (3教科) <p>※ 高知県学力定着状況調査と重複する学年・教科は未実施</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成18年度】 (標準学力検査は平成19年度)		

2) Q-U・hyper-QU (楽しい学校生活を送るためのアンケート) の実施・分析	予算額 521 千円	決算額 444,790 円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>町内小中学校の児童生徒を対象に、Q-U、hyper-QUを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Q-U : 町内小学校で実施 (2回) ・ hyper-QU : 町内中学校で実施 (2回) <p>調査結果について、各校でデータ分析を行い、それぞれの課題に応じた取組が行われた。</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成18年度】		

3) 外国語教育推進事業 (GTEC スコア型英語4技能検定)	予算額 1,045 千円	決算額 844,150 円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>小学6年生、中学2年生を対象にGTEC (「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能</p>		

の力を測定)の実施により、明確となった課題をもとに、学力向上のための手立てを構築し、小中の英語教育の円滑な接続を図った。

小学校英語専科の公開授業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者を限定しての実施となった。

講師招聘による技能検定の結果等に基づく小中学校の英語担当による研修会は、オンラインで実施した。

研修会を通して、各校の成果と課題や小・中学校で取り組むべき課題など、共通理解を図ることができた。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、先進校視察は実施できなかった。

(備考) 【事業開始年度：令和元年度】

4) 中高一貫教育推進事業 (県指定事業・町単 予算事業)	予算額 500 千円	決算額 312,339 円
----------------------------------	---------------	------------------

(現在の実施状況)

大正・十和地域では、中高一貫教育推進協議会において、中学校と高等学校間で、数学・英語・国語・音楽・美術等の相互教員交流が行われている。また、同協議会には、国語・社会・数学・理科・英語・進路指導・養護の部会が設置されており、国語・社会・数学・理科・英語の部会では、中学3年生を対象に共通テストを実施し、結果の分析を行っている。

理科部会では、水質調査等をはじめとした環境に関する学習も実施した。

中高の教員が各部会に分かれ、公開授業を行い、学力向上に向けての取組を行った。

例年実施している「ふるさと学習発表会」は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。

(備考) 【事業開始年度：平成18年度】

加配教員2名 (大正中学校1名、十川中学校1名)

5) 理科教育振興事業	予算額 1,300 千円	決算額 1,161,120 円
-------------	-----------------	--------------------

(現在の実施状況)

理科、算数、数学に関する教育を実施するために必要な設備の整備を行った。

① 七里小学校 : 153,000円 ② 米奥小学校 : 138,000円

③ 窪川小学校 : 218,000円 ④ 昭和小学校 : 139,000円

⑤ 大正中学校 : 513,120円

合 計 : 1,161,120円

※ うち理科教育設備整備費等補助金 580,000円 (1/2国庫補助)

(備考) 【事業開始年度：平成18年度】

6) 教育研究活動	予算額 100 千円	決算額 100,000 円
-----------	---------------	------------------

(現在の実施状況)

学力の現状分析・研究を実施した。また、教育研究所研究協力校2校 (七里小学校、田野々小学校) を指定し、学校現場での実践研究を実施した。

研究員が「ICTの効果的活用における情報活用能力の育成と、個別最適化された質の高い学びの研究」に関するテーマを設定し、町内の小中学校におけるICT活用方法等の情報提供や教材の提案等を行った。また、各校で目安にもらえるように児童生徒のプログラミング学習を中心とした四万十町版情報活用能力系統表を作成した。

(備考) 【事業開始年度：平成18年度】

7) 学習支援員配置事業	予算額 415千円	決算額 263,438円
--------------	--------------	-----------------

(現在の実施状況)

学習支援員は、配置校において放課後に実施した加力学習等での支援を行った。また、それぞれの児童の状況に応じた支援を行った。

学習支援員の配置校と配置人数 興津小学校：1人

(備考) 【事業開始年度：平成27年度】

8) 夢・志を育む学級運営のための実践研究事業 (夢プロ)の推進	予算額 1,243千円	決算額 935,000円
-------------------------------------	----------------	-----------------

(現在の実施状況)

学級活動を基軸とした特別活動の研究を全ての小中学校で行うことにより、魅力ある学校・学級づくりを組織的に進め、子どもたちの健やかな育ちを目的とした事業で、令和3年度より四万十町全域(全校)地域指定となった。

町内全小中学校(15校)の研究や取組をまとめた実践事例集を作成した。

高知県教育委員会事務局人権教育・児童生徒課の指導主事、中部教育事務所の指導主事、國學院大学人間開発学部 杉田 洋教授を講師として招聘しての講話やグループ協議を行った。

各校の校内研修や研究授業の際には、町の推進リーダーを派遣した。12月に田野々小学校、2月に大正中学校が公開授業研修会を実施した。

(備考) 【事業開始年度：令和3年度】

II 校内研究体制の確立及び校内研修の活性化

1) 地域教育推進事業(校内研究支援事業)	予算額 3,999千円	決算額 1,493,800円
-----------------------	----------------	-------------------

(現在の実施状況)

各校が独自に取り組む研究(講師招聘による研修会・先進校視察研修・学力向上につながる取組など)について、事前に校長ヒアリングを実施し、予算の範囲内で支援を行った。

事業実施校・実施額

学校名	実施額	学校名	実施額
仁井田小学校	75,400円	田野々小学校	170,830円
影野小学校	88,660円	北ノ川小学校	60,729円
七里小学校	128,360円	十川小学校	206,625円
米奥小学校	159,510円	昭和小学校	98,695円
窪川小学校	108,250円	窪川中学校	140,670円

川口小学校	0 円	大正中学校	95,984 円
東又小学校	160,087 円	十川中学校	0 円
興津小学校	0 円		
合 計			1,493,800 円

(備 考) 【事業開始年度：平成21年度】

各校において、この事業を活用し実施することとなっていた「先進校視察研修」、「講師招聘」は、令和3年度と同じく新型コロナウイルス感染症の影響により、計画どおり実施できなかった学校があった。

2) 県学校支援訪問等連携・支援 (授業改善プラン訪問含む。)	予算額 —	決算額 —
---------------------------------	----------	----------

(現在の実施状況)

中部教育事務所の学校支援訪問は、15校中11校から希望があり、希望校には年間1回以上の訪問があった。

授業改善プランに係る学校訪問が滞りなく行えるよう、事務処理を適切に行った。

中部教育事務所の指導主事中心に、小中学校の授業改善等への具体的支援・指導を行っていただいた。

(備 考) 【事業開始年度：平成18年度】

Ⅲ 学校経営の充実

1) 定例校長会	予算額 —	決算額 —
----------	----------	----------

(現在の実施状況)

毎月1回開催し、情報共有・協議・意見交換などを行った。

必要に応じて、臨時校長会を開催した。

年間開催回数

定例会：11回 臨時会：1回

※ 毎回、教職員の服務規律の確保について、学校全体で取り組むよう徹底した。また、新型コロナウイルス感染症対策の徹底等も行った

(備 考)

2) 学校運営協議会 (コミュニティスクール)	予算額 545 千円	決算額 388,164 円
-------------------------	---------------	------------------

(現在の実施状況)

米奥小学校と影野小学校に本協議会を設置し、活動を行っている。

地域の教育力・教育的財産を活用した活動を行うとともに学校・地域の活動に参加するなど、小規模校ならではの特色ある学校づくりを推進している。

令和5年度末までに、令和6年度統合予定校を除く全ての小中学校への設置を目指す。

(備 考) 【事業開始年度：平成21年度】

3) 働き方改革の推進	予算額 300 千円	決算額 5,970 円
(現在の実施状況)		
<p>休暇取得の推進と業務の負担軽減のため、令和3年度から夏季休業期間中の学校閉庁日を16日間（毎年8月5日～20日）に拡大するとともに、中学校における部活動の休養日（平日週1日、土日の内1日）を実施している。また、出勤簿の押印の廃止、校務支援システムの効果的な活用による事務処理の簡素化にも取り組んでいる。</p> <p>本年度は、連絡アプリ「すぐーる」を導入し、保護者等への連絡調整などの事務効率が向上した。</p> <p>学校徴収金事務の削減につながる、副教材費の町費負担についての検討を行った。（令和5年度より、子育て支援策として実施することが決定した。）</p> <p>上記の取組の推進等のため、四万十町立小中学校教職員働き方改革推進委員会を年間3回開催した。</p>		
(備考) 【事業開始年度：令和2年度】		

IV 小小・小中連携推進事業

1) 小小・小中連携推進事業	予算額 170 千円	決算額 6,300 円
(現在の実施状況)		
<p>全体会としての「四万十町小小・小中連携教育推進協議会」・「実践交流会」と各中学校校区に「中学校区小小・小中連携教育推進部会」を組織し、各中学校校区の連携教育が一層充実するよう小中学校全教職員の理解を図り、取組を推進している。本年度は、特別活動を中心に取組を推進した。</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成27年度】		

V ICT（情報通信技術）機器の利活用等

1) ICT教育推進事業	予算額 70,717 千円 令和3年度繰越 11,858 千円	決算額 65,544,908 円 令和3年度繰越 11,858,000 円
(現在の実施状況)		
<p>本町では、平成22年度から、ICT機器を導入し、子どもたちが共に学びあい、深い学びにつなげる取組を行っている。</p> <p>また、国が進めるGIGAスクール構想の理念に沿ってさらに取組を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 以前から配置しているICTサポーターを中心に、機器のトラブル対応と操作支援を行った。 ・ 校務支援システムやデジタル教科書及び授業支援ソフトの活用を図った。 ・ 国が推進するGIGAスクール構想の理念に基づき、全小中学校にタブレット端末と充電保管庫をはじめ、授業に必要なICT環境の整備を行った。本年度、小学校1・2年生を含む1人1台の整備（R3繰越）が完了した。 		

- ・ 学習支援ツール「ロイロノート・スクール」のライセンス（児童生徒・教職員用）を整備した。
- ・ タブレット端末の日常的な活用に向けて、インターネット環境のない家庭への通信機器の貸出を行い、持ち帰り学習ができる環境を整備した。
- ・ 関係機関と連携しながら、今後3年間で町内の小中学校で推進するICT教育の方向性（施策、基本方針及び基本目標）を明確に示す「四万十町ICT教育推進計画」を策定した。

（備考）【事業開始年度：平成22年度】

平成22年度：総務省「地域雇用創造ICT絆プロジェクト（教育情報化事業）」を活用し、機器を整備

平成23年度～：ICTサポーターの配置

令和2年度～：国の「GIGAスクール構想」

VI 開かれた教室・学校・教育委員会

1) 学校評価	予算額 —	決算額 —
<p>（現在の実施状況）</p> <p>四万十町立学校管理運営規則により、「学校の自己評価」の実施とその結果についての公表を義務付けている。</p> <p>また、同規則において、「学校の自己評価」の結果を踏まえた「学校関係者評価」の実施と公表については、努力義務としている。</p> <p>「学校の自己評価」と「学校関係者評価」の結果については、教育委員会への報告を義務付けている。</p> <p>「学校の自己評価」、「学校関係者評価」とも、全小中学校で実施されている。</p>		
（備考）		

② 特別支援教育の推進

I 適正就学の確立

1) 就学指導事務（就学時検診・就学等教育支援委員会含む。）	予算額 71千円	決算額 40,205円
<p>（現在の実施状況）</p> <p>特別支援学級の設置状況</p> <p>小学校：11校・16学級（在籍：29名）</p> <p>中学校：2校・4学級（在籍：11名）</p> <p>就学等教育支援委員会を行い障害のある児童生徒の就学指導を行った。</p> <p>発達特性があると推察される児童生徒に対し、教育相談を実施し、適切な就学について確認を行った。</p> <p>保育所・認定こども園と小学校間の連絡・連携、福祉機関との連携により、就学前の児童の状況把握に努めている。</p> <p>教育研究所支援チームと連携し、年間を通じて児童生徒の情報収集、観察等、体制の充実に努めている。</p>		

(備 考) 【事業開始年度：平成18年度】

II 特別支援教育の推進

1) 特別支援教育支援員配置事業	予算額 68,687千円	決算額 68,338,095円
(現在の実施状況) 各校からの配置要望を受け、事務局で協議（校長ヒアリングを実施）を行い、適切な支援が行えるよう特別支援教育支援員を配置し、それぞれの児童生徒に応じた支援を行った。 配置人数 小学校：30名（11校） 中学校：6名（2校） 計：36名（13校）		
(備 考) 【事業開始年度：平成19年度】		

2) 教育相談員派遣事業等	予算額 県対応	決算額 県対応
(現在の実施状況) 教育相談員派遣事業 特別な教育的支援を要する就学前の児童、小中学校に在籍する児童生徒、保護者に対し、県立特別支援学校から教育相談担当者を派遣していただき、適切な就学・学びの場の柔軟な見直し・進路選択が円滑に行なわれるよう教育相談を実施した。 教育相談件数 保育所（3所）：3件 小学校（4校）：14件 中学校（1校）：2件 外部専門家を活用した支援体制充実事業 発達障害等、特別な支援を要する就学前の児童、小中学校に在籍する児童生徒に対し、県教育委員会から専門知識・経験を持つ巡回相談員を派遣していただき、特性に応じた適切な指導・支援の充実を図った。 巡回相談件数 保育所（6所）：6件 小学校（4校）：6件 中学校（0校）：0件		
(備 考)		

3) 特別支援教育就学奨励金給付事業	予算額 829千円	決算額 772,123円
(現在の実施状況) 小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、学用品費等の経済的支援を行った。 給付件数：28件		
(備 考) 【事業開始年度：平成18年度】		

③ 支援を要する子ども・家庭等への支援

I 教育相談活動の拡充

1) 教育相談員活動	予算額 3,311千円	決算額 3,285,784円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>教育相談員（2名）が窪川地域と十和・大正地域を分担して相談活動を行っている。 不登校については、学校・教育支援センターと連携しながら、家庭訪問等により登校を支援するとともに、教育支援センター各教室に通うよう促している。 中学校卒業後に進路が決定していない子どもにも関わり、進路や就職に向けての相談や情報提供など自立を目指した支援を行っている。</p>		
<p>(備考) 【事業開始年度：平成18年度】</p>		

2) スクールカウンセラー活用事業（県指定事業）	予算額 県対応	決算額 県対応
<p>(現在の実施状況)</p> <p>県教育委員会から派遣されたスクールカウンセラーを町内の全ての小中学校（15校）に配置し、児童生徒、保護者、教職員に対するカウンセリング、助言・援助を実施した。</p>		
<p>(備考)</p>		

3) 要・準要保護就学援助	予算額 12,504千円	決算額 10,886,990円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>学用品費等の援助件数（支給件数）</p> <p>要保護児童生徒：2件 準要保護児童生徒：200件</p> <p>新入学用品費の援助件数（支給件数） （入学前（令和3年度末）に支給したものを含む。）</p> <p>要保護児童生徒：0件 準要保護児童生徒：42件</p>		
<p>(備考) 【事業開始年度：平成18年度】</p>		

4) 奨学金	予算額 —	決算額 —
<p>(現在の実施状況)</p> <p>奨学生候補者採用申請について、奨学生審査委員会において審査を行い、その審査結果に基づき奨学金の貸し付けを行った。</p> <p>本年度貸付額：1,850,000円 本年度償還額：6,052,145円 令和3年度末貸付者数：54名 （本年度に貸付を行った者：5名 高校生：5名） （本年度新規に貸付を行った者：1名 高校生：1名）</p>		

本年度完済者数	: 5名
本年度末貸付者数	: 49名
(備考) 【事業開始年度：平成18年度】	

II 教育支援センターの効果的運用、不登校児童生徒への対応・支援

1) 教育支援センター運営・企画	予算額 7,454千円	決算額 7,411,004円
(現在の実施状況)		
<p>小・中・高の教員免許を所有する指導員を配置し、様々な児童生徒の状況に応じた支援が行える体制を整備している。</p> <p>通室生に対して、自主学習・体験学習などを通して心の安定を図り、自信を持つことができるよう支援・指導を行うとともに、家庭訪問を実施し、通室に向けての支援を行った。</p> <p>保護者と状況を共有することにより、不安解消等の保護者支援を行った。</p> <p>通室生数（一時通室を含む。）</p> <p>「かげつ（窪川）」 週5日開室 : 8名</p> <p>「とおわ（十和）」 週1日（木曜日）開室 : 2名</p> <p>「たのの（大正）」 週2日（火・水曜日）開室 : 3名</p> <p>SSW, 教育相談員、指導員対応 約 160件</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成18年度】		

III 各関係機関との情報共有・連携活動体制等の強化

1) スクールソーシャルワーカー活用事業（県指定事業）	予算額 3,487千円	決算額 3,475,640円
(現在の実施状況)		
<p>学校と他の教育機関、福祉機関をつなぐコーディネーターとして教育研究所にSSWを2名配置し、町内を2つの地域に分け、それぞれが分担し丁寧な活動を行っている。</p> <p>SSWが、子どもを取り巻く環境に関することや特性を持つ子どもなどについて、学校・保育所等を中心として情報収集・アドバイス等を行い、関係機関と連携し対応した。</p> <p>県の事業による高等学校への訪問も実施され、家庭環境等も理解したうえで、小中高をつなげての支援となった。</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成20年度】		

2) 子ども支援ネットワーク活動	予算額 —	決算額 —
(現在の実施状況)		
<p>要支援の児童生徒については、学校訪問や毎月の情報提供などによって、子どもの様子や状況を把握し、関係機関と情報の共有を行っている。</p> <p>また、子ども支援ネットワーク活動を実施している要保護児童対策協議会においては、支援方法、各機関の役割分担等について協議を行った。</p> <p>会議の開催状況 : 代表者会 1回 定例会 16回</p>		

実務者会 4回 個別支援会 9回	合計 30回
(備考) 【事業開始年度：平成21年度】	

④ 豊かな心と身体を育む教育の推進

I 人権教育の充実

1) 「いのちの学習」推進	予算額 —	決算額 —
<p>(現在の実施状況)</p> <p>学校等で計画された「いのちの学習」に対して、教材の貸し出しや授業参観等により教育研究所が支援を行った。</p> <p>貸し出し教材を活用しての「いのちの学習」は、学校では授業の中で実施され、保育所等では、発達段階に応じて実施されている。</p> <p>「いのちの学習」教材の貸出状況</p> <p>保育所 : 5回 (川口保育所、小鳩保育所、)</p> <p>認定こども園 : 7回 (認定こども園たのの)</p> <p>小学校 : 3回 (田野々小学校、東又小学校、昭和小学校)</p> <p>中学校 : 1回 (大正中学校)</p> <p>その他 : 8回 (子育て支援センター・健康福祉課)</p>		
(備考) 【事業開始年度：平成18年度】		

2) 教育・福祉人材交流事業	予算額 63 千円	決算額 22,350 円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>令和4年8月3日に次の内容の交流研修を実施した。</p> <p>内容 : 社会福祉団体の職員による講話「本町の現状について」、公共施設を利用したの車いす体験、高齢者疑似体験、講師を招聘しての手話体験、グループで協議、発表や質疑など</p> <p>参加者 : 37名 (教職員 : 24名、町職員 : 10名、社会福祉団体 : 3名)</p> <p>スタッフ : 10名</p>		
<p>(備考) 【事業開始年度：平成21年度】</p> <p>しまんと町社会福祉協議会との共催</p>		

II 食育の充実・推進

1) 食育の充実と推進	予算額 —	決算額 —
<p>(現在の実施状況)</p> <p>3つの学校給食センター(窪川、大正、十和)において、町内全小中学校の完全給食を実施している。</p>		

各学校給食センターの栄養教諭（2名）・臨時学校栄養教諭（2名）を中心に食育の学習・指導を実施している。

・ 食育の学習・指導の実施状況

食育の日（毎月19日頃）に、全ての学校給食センターで共通の町内産食材を使った給食を提供し、地産地消を推進する取組を実施した。また、「高知家の給食」として、県内の特産品等使用した給食を統一して年間9回提供した。

栄養教諭部会を年間3回開催し、食育指導や献立の検討、情報交換を行った。

（備考）【事業開始年度：平成21年度】

2) 学校給食センター運営	予算額 243,830千円	決算額 234,116,801円
<p>（現在の実施状況）</p> <p>全ての学校給食センターにおいて、平成26年度より調理業務を完全委託し、共同調理を行い、全小中学校の児童生徒に給食を提供している。</p> <p>令和4年度の調理食数（1日あたり）</p> <p style="margin-left: 40px;">窪川学校給食センター : 914食</p> <p style="margin-left: 40px;">大正学校給食センター : 238食</p> <p style="margin-left: 40px;">十和学校給食センター : 131食</p> <p style="margin-left: 40px;">給食費の月額 小学校 : 4,500円</p> <p style="margin-left: 80px;">中学校 : 4,900円</p> <p>食の安全の確保については、法令で定められた年1回の食品点検を実施するほか、食材納品時は、目視等により安全を確認している。</p> <p>栄養教諭部会において、献立の検討、情報交換を行った。</p> <p>令和3年度から、町内の高等学校の魅力化の一環で、2校への給食の提供を始めた。</p> <p style="margin-left: 40px;">提供実績 窪川高等学校 : 72食</p> <p style="margin-left: 80px;">四万十高等学校 : 67食</p>		
<p>（備考）【事業開始年度：平成21年度（窪川）、平成18年度（大正、十和）】</p>		

Ⅲ 道徳教育の充実

1) 道徳教育の充実	予算額 県対応	決算額 県対応
<p>（現在の実施状況）</p> <p>本年度は、四万十町道徳教育推進協議会を年3回計画し、第1回推進協議会（6月開催）では、町としての課題や本年度の取組や各校で意識して取り組むこと等について確認した。</p> <p>2学期は、授業づくり講座への参加（各校1名以上）とレポート提出を課した。</p> <p>第2回の推進協議会（2月）は、家庭・地域と連携した道徳教育、道徳科をどのように行ったかについての実践交流や情報共有を行い来年度の取組の参考にしてもらうことができた。</p>		
<p>（備考）【事業開始年度：平成22年度】</p>		

2) 学校図書館支援員の配置	予算額 4,021千円	決算額 3,867,007円

(現在の実施状況)

窪川小学校と窪川中学校に学校図書支援員各1名を配置し、図書の整理・貸出図書の管理を行い、学校図書館機能の充実を図った。

学校図書支援員を配置していない学校については、町立図書館との連携などにより、図書の整理や環境の整備等の課題に対応した。

(備考) 【事業開始年度：平成22年度】

IV 国際理解・環境教育の推進

1) 外国語指導助手(ALT)活用事業	予算額 35,713千円	決算額 34,598,683円
---------------------	-----------------	--------------------

(現在の実施状況)

令和3年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響により、ALTが予定どおり入国できないという状況があったが、本年度は、当初から計画していた5名体制での各校への訪問を行うことができた。

(備考) 【事業開始年度：平成18年度】

V 体力の向上と学校保健教育の徹底

1) 中学校部活動等補助金	予算額 1,828千円	決算額 1,797,393円
---------------	----------------	-------------------

(現在の実施状況)

町立中学校の部活動等の振興を図るため、次のとおり補助を行った。

- ・ 部活動に対する補助

四国大会

四国中学校総合体育大会

窪川中学校：260,860円(陸上競技・水泳競技・女子ソフトボール)

大正中学校：145,808円(男子ソフトボール)

四国中学生ソフトボール新人大会

大正中学校：122,640円(男子)

四国中学校男子ソフトボール強化大会

大正中学校：272,140円(男子)

四国中学校男子及び女子ソフトボール強化大会

窪川中学校：409,962円(男子 女子)

全国大会

全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会(選手選抜)

窪川中学校：53,249円(女子1名)

JOCジュニアオリンピックカップ陸上競技大会

窪川中学校：13,750円(三段跳び1名)

JOCジュニアオリンピックカップバレーボール大会(選手選抜)

窪川中学校：30,595円(女子1名)

全日本中学生男子・女子ソフトボール大会(選手選抜)

窪川中学校：284,092円(男子3名 女子1名)

大正中学校：204,297円（男子3名）		
（備考）【事業開始年度：平成18年度】		

2) 体力運動能力等調査実施・分析（国・県調査含む。）	予算額 —	決算額 —
（現在の実施状況） 小学5年生・中学2年生を対象として実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」、小学4年生以上を対象（小学3年生以下は抽出）として実施した「高知県体力・運動能力、生活実態等調査」の結果について、各校で分析を行った。また、四万十町の傾向についても把握した。		
（備考）【事業開始年度：平成18年度】		

VI ふるさと教育の推進

1) 地域教育推進事業（キャリアアップ事業）	予算額 2,105千円	決算額 1,447,253円
（現在の実施状況） 四万十町内の全小中学校（15校）に対し、予算を配分（通常枠（児童・生徒数等により算定した額）・防災枠（校長ヒアリングで決定した額））し、地域教育推進事業（各校で実施する独自の事業）を支援した。 各校で実施された主な事業内容 通常枠：あいさつ運動、職場体験活動、自然体験活動、世代間交流活動、美化活動、広報活動、地域との連携活動、ボランティア活動、地域・家庭の教育力向上を目指す取組、情操教育、道徳教育の充実 など 防災枠：パワフルウォーキングマップの作成、防災視察研修、防災用品の購入、防災学習会、救急法講習、炊き出し訓練、防災訓練、体験学習、地震・津波に備える啓発活動 など		
（備考）【事業開始年度：平成19年度】		

2) ふるさと教育の推進	予算額 468千円	決算額 105,032円
（現在の実施状況） 令和3年度に全面改訂した小学3・4年生用の社会科副読本「わたしたちのまち四万十町」を活用し地域学習を進め、検証委員会で、活用状況の検証を行った。 地域の先人に学ぶことを目的とし、副読本「しまんとヒストリア 具眼のリベラリスト 谷干城物語」の冊子を小学4年生に配布した。 町内全ての小学5年生を対象に米奥小学校下の河原でふるさとに親しみを持てる体験学習として、生き物探し（四万十川財団）やドローン体験（四万十公社）等による「川がき体験学習」を実施した。		
（備考）【事業開始年度：平成30年度】		

⑤ 児童生徒の安全確保の充実

I 安全管理

1) 学校施設の整備	予算額 171,247 千円	決算額 169,889,111 円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>全ての教育施設について、施設の安全面の確認等を行い、危険箇所を発見した際には早急な対応を行っている。</p> <p>学校施設の損傷や不具合、不良箇所（漏水・雨漏り・鉄骨等腐食・消防設備等）の修繕、危険箇所（転落防止・モルタル剥離）の改修を行った。</p> <p>本年度に実施した主な改修工事等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トイレ改修工事（洋式化） : 東又小学校、田野々小学校 ・ 遊具改修工事 : 全小学校 ・ 防球ネット改修工事 : 昭和中学校（休校中） その他、簡易な修繕は、全小中学校で実施 ・ 走り幅跳び砂場整備工事 : 大正中学校 ・ プールテント張替工事 : 大正中学校 ・ 教室前廊下改修工事 : 窪川中学校 ・ 階段前板張り工事 : 窪川中学校 ・ 特別支援教室等改修工事 : 米奥小学校 十川小学校 ・ 正面玄関屋上一部防水改修工事 : 窪川小学校 		
<p>(備考) 【事業開始年度：平成18年度】</p>		

2) 学校施設改築等計画	予算額 —	決算額 —
<p>(現在の実施状況)</p> <p>令和2年度末に策定した「学校施設等長寿命化計画」及び令和3年度に策定した「施設整備計画」に基づき施設の整備等を実施している。</p> <p>令和元年度 : 学校施設等の長寿命化計画を策定するため、学校施設の建物・設備等の老朽化について調査を行った。</p> <p>令和2年度 : 令和元年度に実施した老朽化調査結果について分析を行い、またその結果を基に「学校適正配置計画」と整合性を図りながら、「学校施設等長寿命化計画」を策定し、ホームページへ公開した。</p> <p>令和3年度 : 令和2年度に策定した「学校施設等長寿命化計画」に基づき、施設の整備計画を策定した。</p> <p>令和4年度 : 整備等を行った内容については、前述の「1) 学校施設の整備」に記載のとおり</p>		
<p>(備考) 【事業開始年度：平成24年度】</p>		

3) 遊具の安全確保	予算額 1,935 千円	決算額 1,931,600 円

(現在の実施状況)

設置遊具の状況調査を行い、必要に応じて遊具の撤去・改修を行っている。平成29年度から毎年、専門業者による安全点検を実施している。

点検結果に基づき、改修・撤去・再設置した遊具

- 仁井田小学校 : サッカーゴール(固定)、シーソー(修繕)、ジャングルジム(塗装)、雲梯(塗装)、一輪車練習器(塗装)
- 影野小学校 : サッカーゴール(塗装)、鉄棒(塗装)
- 七里小学校 : 登り棒(撤去)
- 米奥小学校 : タイヤ(撤去・新設)、雲梯(修繕)、登り棒(修繕)、滑り台(塗装)、鉄棒(塗装)
- 窪川小学校 : サッカーゴール(塗装・ネット交換)
- 川口小学校 : ブランコ(塗装)、ハンドゴール(塗装・固定)、シーソー(修繕)
- 東又小学校 : サッカーゴール(固定)
- 興津小学校 : ジャングルジム(塗装)
- 田野々小学校 : サッカーゴール(塗装・ネット交換)
- 北ノ川小学校 : サッカーゴール(固定)、ジャングルジム(塗装)
- 十川小学校 : ブランコ(塗装)、
- 昭和小学校 : 滑り台(塗装)、サッカーゴール(塗装・ネット交換)
- 窪川中学校 : サッカーゴール(固定)
- 十川中学校 : サッカーゴール(固定・塗装)

(備考) 【事業開始年度：平成24年度】

4) 通学対策

予算額	決算額
61,888 千円	55,784,712 円

(現在の実施状況)

児童生徒の通学手段の確保とともに通学にかかる費用の負担軽減のため、次のとおり対策を実施した。

主な経費

- ① 通学バス定期券の購入 : 9,659,950円
- ② 遠距離通学生徒補助金 : 163,000円
- ③ 通学用ヘルメット購入補助 : 30,972円
- ④ スクールバス運行委託料 : 24,899,409円
- ⑤ スクールバス維持管理経費 : 6,558,910円

(備考) 【事業開始年度：平成18年度】

5) 通学路の安全確保(協議会の開催及び合同点検の実施)

予算額	決算額
—	—

(現在の実施状況)

警察、道路管理者、学校関係者等を委員とする通学路安全対策連絡協議会において、合同点検を夏季に(1回)実施した。

合同点検は、事前に全小中学校の通学路の危険箇所の情報を収集し、新規箇所を重点に行

うとともに対策を検証・協議し、危険箇所の改善に努めている。

令和元年度から、「交通安全」だけでなく、「防犯」の観点についても本協議会を活用して協議・検証していく体制に改め、児童生徒のさらなる安全確保を図っている。

本年度に行った合同点検 ※前年からの継続箇所も点検を行っている。

窪川地区 : 35箇所 (防犯は11箇所)

大正・十和地区 : 13箇所 (防犯は10箇所)

「通学路安全対策連絡協議会」の役割に交通安全確保の視点に加え「登下校防犯プラン」に基づく防犯の視点で取組を行うよう関係機関と調整を行い、通学路の防犯における危険箇所の情報共有を行った。

(備考) 【事業開始年度：平成26年度】

II 防災教育の充実

1) 防災教育推進事業	予算額 4,382千円	決算額 4,202,760円
(現在の実施状況) 学校での防災教育について、本町の危機管理課と情報を共有し支援した。 全小中学校で防災学習(5時間)や避難訓練(3回)に取り組んでいる。また、防災教育アドバイザーを委嘱し、各校の希望に応じて派遣(5回)し、防災教育の充実に努めた。 緊急地震速報発報端末装置の機器更新を行い、災害時の被害を低減できるよう災害発生を想定した避難訓練で実際に使用した。		
(備考) 【事業開始年度：平成30年度】		

⑥ 学校適正配置計画

I 「四万十町立小中学校適正配置計画」の見直し及び実施

1) 学校適正配置推進事業	予算額 184千円	決算額 45,155円
(現在の実施状況) 本年度に統合した北ノ川中学校と大正中学校の生徒の状況を把握するため、7月25日に保護者との協議をに行った。また、2月には、統合後の保護者の現状や意見・要望の把握するためにアンケートを実施し、今後の学校運営の参考とした。 令和3年度には、運用方針を見直し統合時期を令和7年4月以降としたが、興津小学校PTAより令和6年4月に統合したいとの申し出があり、統合に向けての協議を行った。 [主な取組内容] 大正中学校と北ノ川中学校の統合後について 令和4年7月25日 : 北ノ川小学校区の保護者に統合後の生徒の状況を確認 令和5年2月 : 北ノ川中学校に在籍していた生徒の保護者を対象にアンケートを実施(生徒や保護者の現状や意見・要望) 興津小学校と東又小学校の統合について 令和4年7月6日 : 興津小学校の保護者との協議(統合までのスケジュール、スクールバスの運行等)		

- 令和4年10月12日 : 興津小学校の保護者との協議（統合への同意、放課後子ども教室の状況等）
- 令和4年10月18日 : 興津保育所の保護者との協議（適正配置計画及び統合までのスケジュール等の説明）
- 令和4年12月2日 : 興津地区区長会で統合について説明（令和6年4月の統合に向けて興津小学校PTAと統合について協議を行っていること等）
- 令和5年2月9日 : 東又小学校PTA役員会で説明（統合・閉校の準備への協力依頼等）
- 令和5年3月 : 興津地域の全戸に文書を配布（経過説明、統合・閉校に向けての協力依頼）
- 十和地域（十川小学校・昭和小学校）
- 令和4年12月6日 : 十川・昭和小中学校PTAや小鳩・昭和保育所保護者会と意見交換（適正配置計画の説明、十和地域の学校の在り方についての協議依頼）
- 令和5年2月 : 地域内の保育所、小中学校の保護者を対象に統合についてのアンケート調査を実施

（備考）【事業開始年度：平成20年度】

(2) 生涯学習に関すること

① 多様な学習活動の推進

I 施設開放・学習機会の提供

1) 文化講座（コミュニティー施設開放、各種教室・講座推進）	予算額 150千円	決算額 129,469円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>例年、子どもから高齢者までを対象に、多様な学習機会となるよう教室等を実施しているが、本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定どおりの実施とはならなかった。</p> <p>実施した教室・講座と参加者等</p> <p>① 地域学芸員養成講座 参加人数 : 8名</p> <p>1回目 (6/27) 2回目 (7/25) 3回目 (8/22) 4回目 (9/26)</p> <p>5回目 (10/24) 6回目 (11/28) 7回目 (12/19) 8回目 (1/23)</p> <p>9回目 (2/27) 10回目 (3/27)</p> <p>② 歴史講座</p> <p>1回目 (6/25) : 36名 2回目 (8/27) : 中止</p> <p>3回目 (10/22) : 34名 4回目 (12/24) : 中止</p> <p>③ ゆかたの着付け教室</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>④ スマートフォン教室</p> <p>1回目 (10/22) : 5名 2回目 (3/21) : 10名</p> <p>⑤ 着物の着付け教室</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>⑥ 写真講座</p> <p>1回目 (3/11) : 17名 2回目 (3/18) : 21名</p> <p>⑦ 工芸教室</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>		
<p>(備考) 【事業開始年度：平成29年度】</p>		

2) 高齢者地域活動事業（シルバー大学）	予算額 401千円	決算額 201,870円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>各種講演会、スポーツ・レクレーション等、年間を通していろいろな取組を行った。</p> <p>(1) 対象者等</p> <p>① 対象 : 60歳以上の町民</p> <p>② 委員9人による運営委員会 : 2回</p> <p>(2) 主な活動</p> <p>① 講演会（開校式時に1回）</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>② 視察研修（県内日帰り1回）</p> <p>③ 役員研修（県内日帰り1回）</p>		

④ スポーツ活動（グラウンドゴルフ大会・ゲートボール大会）

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

⑤ 交流活動 グラウンドゴルフ合同練習（毎月第3木曜日）

（備考）

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年どおりの活動が出来なかった。

3) 人権教育推進事業	予算額 2,918千円	決算額 1,858,412円
-------------	----------------	-------------------

（現在の実施状況）

四万十町人権教育研究協議会と連携（事務局・活動費支援を含む。）し人権を尊重するまちづくりをめざし、研修や勉強会を開催している。

- ・ 四万十町人権教育研究協議会人権講演会として人権週間に第12回四万十町人権教育研修会「心の傷を癒すということ」を大正地域で開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により本年度も中止となった。
- ・ 窪川支部では、6月24日に定期大会・研修会を行った。8月に予定していた人権講演会、2月に開催している集約大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
- ・ 大正支部では、小中学校・高等学校に人権作文を依頼し製本配布を行った。
- ・ 十和支部では、水平社博物館見学、県人権教育講演会・県人権集約大会に参加した。

人権尊重の町づくりを進めるための活動（上記の活動など）を推進している団体に対し、支援（補助金）を行った。

四万十町人権教育研究協議会	58,018円
〃 窪川支部	1,066,889円
〃 大正支部	0円
〃 十和支部	411,430円
計	1,536,337円
その他諸経費（需用費等）	322,075円

（備考） 事業開始年度 平成20年度～

4) 国際交流促進事業	予算額 150千円	決算額 75,486円
-------------	--------------	----------------

（現在の実施状況）

1. 国際交流事業 : 国際交流員（CIR）による町内の保育所・認定こども園訪問や異文化ふれあい教室などを実施し、国際感覚を持った人材の育成に努めた。

（1）英語教室		授業実施回数 : 282回			
申込人数	窪川地区	子ども	: 18名	入門・初級	: 22名
		初中級（昼）	: 9名	中級（昼）	: 6名
		中級（夜）	: 6名	上級	: 9名
	大正地区	子ども	: 3名	初中級	: 6名
	十和地区	子ども	: 6名	初中級	: 4名

② スポーツ・レクリエーション活動の推進

I 施設開放・活動機会の提供

<p>1) 生涯スポーツ推進 (社会体育施設等の開放、地域スポーツ競技普及、町民スポーツ大会、レクリエーション活動推進、競技スポーツ大会等)</p>	<p>予算額 4,618千円</p>	<p>決算額 4,578,012円</p>
<p>(現在の実施状況)</p> <p>1. 住民が参加しやすい大会や教室を、「総合型地域スポーツクラブ」と協働(業務委託)して実施した。</p> <p>① NPO法人くぼかわスポーツクラブ 2,023,912円</p> <p>【大会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ミックスバレーボール大会 7チーム ・ ソフトテニス大会 14ペア ・ バドミントン大会 13ペア ・ 硬式テニス大会 9ペア ・ 少年剣道大会 35名 ・ スカッシュバレーボール大会 4チーム ・ ソフトバレーボール大会 5チーム ・ ロードレース大会 115名 ・ 勤労者駅伝大会 7チーム ・ ゲートボール大会 4チーム <p>② 大正・十和スポーツクラブ 2,544,891円</p> <p>【大会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ソフトボール大会 3チーム ・ スカッシュバレーボール大会 8チーム ・ ソフトバレーボール大会 4チーム ・ バレーボール大会 3チーム ・ グラウンドゴルフ大会 中止(グラウンド不良) ・ バドミントン大会 5ペア ・ ゲートボール 12名 ・ 四万十川駅伝大会 15チーム ・ 四万十町十和駅伝大会 19チーム ・ 十和トレイルランニング大会 83名 ・ 健康運動教室等 43名 <p style="text-align: right;">計 4,578,012円</p> <p>2. 窪川B&G海洋センターの管理運営業務を委託(指定管理)</p> <p style="padding-left: 20px;">指定管理者 : NPO法人くぼかわスポーツクラブ</p>		
<p>(備考)</p>		

II 全国発信スポーツ大会の開催

1) 全国発信スポーツ大会の開催	予算額 15,241 千円	決算額 14,481,000 円
(現在の実施状況)		
<p>「四万十川ウルトラマラソン」は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度はオンラインチャレンジ形式で開催されたが、本年度は中止となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十川ウルトラマラソン負担金 1,140,000円 ※ 大会1か月前に中止となったため、それまでの準備に要する費用が発生した。 <p>「四万十川桜マラソン大会」は、申込人数1,012人、当日参加者数854人で開催されたが、予定を大きく下回る参加者数となったことから、大会運営に係る資金が不足したため、補助金を増額して対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十川桜マラソン大会実行委員会への補助金 12,841,000円 ・ 桜マラソンてんぐ巣病除去作業委託料 500,000円 		
(備考)		

III 各種関係団体の活動振興、活性化の推進

1) 生涯スポーツ団体等支援（補助金等）	予算額 2,721 千円	決算額 2,494,200 円
(現在の実施状況)		
<p>生涯スポーツ団体などが行う活動等に対して支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① NPO法人くぼかわスポーツクラブ（総合型スポーツクラブ） 833,000円 ② 大正・十和スポーツクラブ〈総合型地域スポーツクラブ〉 1,187,200円 ③ 各種スポーツ大会出場助成 237,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体1（全国大会：ソフトボール） 75,000円 ・ 個人12（ソフトボール、バレーボール、卓球） 162,000円 ④ 高知縣市町村対抗駅伝大会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 0円 		
(備考)		

③ 郷土文化の継承と創造

I 文化財の保存活用等

1) 国・県・町文化財の保存・活用	予算額 1,425 千円	決算額 996,579 円
(現在の実施状況)		
<p>国・県・町指定文化財について、保存・活用に取り組んだ。</p> <p>1. 国・県・町指定文化財、埋蔵文化財等の保護活用等を図った。</p> <p>(1) 文化財の保護活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 四万十町文化財保護審議会（1回開催） ② 文化財パトロールを実施 ③ 埋蔵文化財包蔵地の開発行為による立会及び事前調査（必要に応じて随時） <p>(2) その他振興・活用等</p>		

① 四万十町文化財保護事業費補助金	
・ 志和薬師寺薬師堂 修繕	492,800円
② 興津八幡宮の古式神事 神輿修繕	2,485,000円(町の予算外)
2. 国・県・町指定の四万十町文化財の登録件数	
国：17件 ・ 県：11件 ・ 町：108件	計：136件
(備考)	

2) 重要文化的景観保護活用事業	予算額 3,060千円	決算額 3,037,239円
(現在の実施状況)		
<p>1. 重要文化的景観の重要構成要素の大規模な現状変更についての専門的見地からの検討を行うため、「四万十町文化的景観整備管理委員会」を開催し、専門的見地を踏まえた調査・検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回目 令和4年11月1日 ・ 第2回目 令和5年2月10日 <p>2. 四万十町重要文化的景観保存活用計画改定検討業務</p> <p>四万十川流域の5市町(梶原町、津野町、中土佐町、四万十町、四万十市)は、平成21年度に重要文化的景観に選定された。</p> <p>本町では、町内にある重要文化的景観の保存・継承を図るため、平成20年度に「文化的景観保存計画」を策定した。策定から一定の年月が経過し、計画の運営体制等について再考が必要な時期を迎えているため、令和3年度から改定の検討を行っている。</p> <p>また、本年度は、流域全体で連携・調整を図りながら、流域の基本方針及び町の方針を策定した。</p> <p>3. 四万十川流域重要文化的景観保存活用計画等改定検討会</p> <p>保存活用計画の策定にあたり、文化庁調査官や流域市町の文化的景観整備委員等から専門的見地を踏まえた意見を聴取し計画に反映するため、検討会を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回目 令和4年7月13日(Web会議) ・ 第2回目 令和4年12月7日(Web会議) <p>4. 四万十川流域の文化的景観情報発信事業</p> <p>四万十川流域の文化的景観は、人と川との関わりがづくりだす景観であり、山から発する水を生活や農業に用い、各所で漁を行い、遊泳を楽しみ、移動や運搬に利用している。日常の中で川の恩恵と脅威を学び、その知識を受け継いできた流域の人々によって支えられてきた。</p> <p>しかし、過疎化や少子高齢化に伴い、近年はその知識の継承ができない状況にある。そのため、本事業では、地域住民のシビックプライド(まちに対する住民の誇り)の醸成につながる文化的景観に関わる取組、川に関わる体験、水難事故などの情報発信等を行うための検討を行った。本事業は2か年計画であり、令和5年度に完了する。</p>		
(備考)		

II 伝承・伝統文化の継承支援

1) 郷土資料館の管理・運営	予算額 2,668千円	決算額 2,511,086円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>開館日 : 火曜日～日曜日 (開館時間: 10時～15時)</p> <p>入館料 : 無料 (平成25年度から無料とした。)</p> <p>入館者数 : 令和4年度 : 1,075人</p> <p style="padding-left: 40px;">参考 令和3年度 : 1,053人 令和2年度 : 798人</p> <p style="padding-left: 40px;">令和元年度 : 1,190人 平成30年度 : 1,644人</p> <p>管理 : 受付、清掃等の業務 (旧竹内家住宅や旧門脇家住宅も含む。) に、大正かざぐるまのメンバーを雇用 (パート) し、管理と活用を行っている。</p> <p>展示物 (主に旧大正町が収集した縄文から現代までの民俗資料を展示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十町の有形民俗資料を中心に古文書、農具、山林具、川漁の道具 等 ・ 大型磨製石斧、小型有舌尖頭器等縄文時代の石器や土器片 等 ・ 昭和中期の生活道具 等 		
(備考)		

④ 芸術文化活動の推進

I 図書館・美術館の充実等

1) 町立図書館・美術館管理運営事業	予算額 44,606千円	決算額 42,363,807円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>【図書館】 ※ 数値は、大正分館を含む。</p> <p>◇ 入館者 22,898人 (令和3年度 : 22,355人)</p> <p>貸出者数 10,345人 (令和3年度 : 10,619人)</p> <p>貸出冊数 42,507冊 (令和3年度 : 44,667冊)</p> <p>◇ 図書購入冊数 3,572冊 (令和3年度 : 2,867冊)</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 令和4年度末蔵書数 76,312冊</p> <p style="padding-left: 40px;">(本館 : 48,930冊、大正分館 : 27,382冊)</p> <p>◇ 読書活動推進事業</p> <p style="padding-left: 20px;">① 団体貸出数 : 10,467冊</p> <p style="padding-left: 20px;">② 小学校への出張「読み聞かせ」 : 38回 (350名)</p> <p style="padding-left: 20px;">③ 読み聞かせボランティア育成のための勉強会 : 参加者 延べ152名</p> <p style="padding-left: 20px;">④ えほんのはこ10周年記念誌の作成</p> <p>◇ 図書館事業 (連続講座、読書週間行事、各種イベント、子ども司書養成講座等)</p> <p>◇ 移動図書館車導入と巡回準備</p> <p>◇ 生涯読書活動推進計画の策定着手</p> <p>【美術館】</p> <p>◇ 美術作品点検 (文化的施設の開館準備) のため休館</p> <p style="padding-left: 20px;">5月9日 ~ 12月26日</p>		

<ul style="list-style-type: none"> ・ 点検実施作品数 : 絵画作品 451点 ◇ 入館者数 362人 (令和3年度 : 915人) ◇ 展覧会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022年度読書感想画、読書郵便作品展 ・ 中平松鶴展 ・ 収蔵作品展～四万十町ゆかりの画家が描く海外風景～ ◇ 収蔵品 絵画 : 555点 (本年度受入0点) その他 : 196点 (本年度受入0点) <p>※ 図書館では、個人貸出の利用減が見られた一方、団体貸出冊数は増加した。</p> <p>※ 美術館は、長期休館の影響で入館者は大幅に減少した。</p>
(備考)

⑤ 子どもの健全育成の推進

I 乳幼児期の養護及び教育の充実

1) 町立保育所管理運営	予算額 146,373千円	決算額 139,076,981円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>利用者数(令和4年度末時点) 児童数計 : 237名</p> <p>【窪川地域】 見付保育所 : 65名、東又保育所 : 36名、興津保育所 : 10名</p> <p>【大正地域】 認定こども園たのの : 50名、北ノ川保育所 : 24名</p> <p>【十和地域】 小鳩保育所 : 32名、昭和保育所 : 20名</p> <p>保育の実施時間</p> <p>【短時間保育】 8:30～16:30</p> <p>【標準時間保育】 7:30～18:30</p> <p>職員の資質・専門性の向上対策</p> <p>保育所機能を果たすために不可欠である職員の資質・専門性の向上については、県が行う幼保研修を必修とし、該当職員の研修機会の確保に努めている。</p> <p>【幼保研修】 基本研修(初任者・ミドル・主任・所長の各研修) 専門研修(保・幼・小連携教育講座、保育技術専門講座等)</p> <p>保育所職員の自己研修活動への支援</p> <p>町内の町立、児協立保育所の全職員が、相互の連絡・連携を図るとともに研修を深め保育所運営の充実・発展に寄与することを目的として、自主的に組織した「こども園・保育所連合会」の活動に対し、研修機会を保障するための代替要員の雇用等、全保育所職員の自己研鑽、資質向上を支援している。</p>		
(備考)		

2) 委託等による保育の実施	予算額 285,816千円	決算額 277,310,949円
<p>(現在の実施状況)</p> <p>「くぼかわ保育所」、「松葉川保育所」、「川口保育所」は、運営を委託し保育を行って</p>		

いる。また、「ひかり保育所」については、指定管理により保育を実施している。

委託先・指定管理者：社会福祉法人 窪川児童福祉協会

【法人の運営】 町の補助金で運営

【保育所の運営】 児童福祉法に基づく国が定める保育単価により算出される町の委託料と町の補助金（人件費等補助分）で運営

【利用者数】（令和4年度末時点）

くぼかわ保育所	： 117名	松葉川保育所	： 36名
川口保育所	： 25名	ひかり保育所	： 40名
		児童数計	： 218名

【令和4年度保育所運営費】

◎ 私立保育所運営委託料	161,877,050円
◎ 私立保育所運営費補助金（施設）	48,117,415円
◎ 私立保育所運営費補助金（本部）	12,586,696円

【令和4年度ひかり保育所指定管理料】

◎ 指定管理料	54,729,788円
---------	-------------

（備考）

3) 多子世帯特定教育・保育施設使用料及び特定保育施設利用者負担金等軽減事業	予算額 —	決算額 —
--	----------	----------

（現在の実施状況）

○ 多子世帯特定教育・保育施設使用料軽減事業

【事業内容】

児童（18歳に達する日以降最初の3月31日までの間にある者）を2人以上養育している世帯の第2子以降の特定教育・保育施設使用料を軽減する。

【対象施設】 認可保育所等（町内の保育所・認定こども園）

【実施方法】 全対象世帯に通知し、保護者からの申請に基づき実施する。

【事業費】 保育所・認定こども園（公立8か所、私立3か所）

事業費（保育利用料減額）	10,023,350円
（内訳） 3歳未満第3子以降児童 27名	6,957,250円
第2子児童 15名	3,066,100円
県補助金（3歳未満第3子以降児童）	3,478,625円
町負担	6,544,725円

○ 多子世帯特定保育施設利用者負担金等軽減事業

【事業内容】

児童（18歳に達する日以降最初の3月31日までの間にある者）を2人以上養育している世帯の第2子以降の特定保育施設利用者負担金等を軽減する。

【対象施設】 認可外保育施設

【実施方法】 対象施設の利用希望世帯に通知し、保護者からの申請に基づき実施する。

※ 本年度、： 申請なし

（備考） 事業費は、保育利用料（収入）の減額分を記載

4) 幼児教育無償化	予算額 —	決算額 —
(現在の実施状況)		
<p>子ども・子育て支援法が改正（令和元年5月）され、令和元年10月から保育所・認定こども園等を利用する3歳児から5歳児までの全ての子どもたちと、0歳児から2歳児までの住民税非課税世帯の子どもたちの利用料無償化がスタートした。</p> <p>利用料の無償化に伴い、実費徴収することとされた副食費（1人あたり4,500円/月）については、町の方針により無償としている。</p>		
(備考)		

II 子ども・子育て支援対策

1) 子ども・子育て支援対策事業	予算額 11千円	決算額 10,400円
(現在の実施状況)		
<p>平成27年度から新制度での運用を開始したこの事業では、「第1期計画」の改訂時期を迎えたことから、令和2年に子どもの健やかな育ちと子育てを社会全体で支援する環境をさらに整備するため、「第2期四万十町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、各分野の関係機関が相互連携を図りながら、様々な施策を推進している。また、毎年計画の進捗状況の確認を行っている。</p>		
(備考)		

2) 子育て支援センター管理運営	予算額 7,736千円	決算額 6,991,569円
(現在の実施状況)		
<p>【子育てひろば】 毎月6～7回開催</p> <p>【園庭・施設開放】 月～金曜日 9:00～12:00・13:00～16:30 参加者数：3,560名</p> <ul style="list-style-type: none"> 親子で一緒に遊ぶ場の提供と保護者同士の友達づくりの援助を行っている。 絵本の読み聞かせ等を行っている。 職員による育児相談、離乳食指導、子育てに関する支援、保護者のリフレッシュ活動等を行っている。 町内の保育所へ出かけ施設見学や職員、園児との交流を行っている。 <p>【子育て講演会】 開催回数：44回（参加者数：400名）</p> <p>【子育て通信発行】</p> <ul style="list-style-type: none"> 月の予定、子育て支援センター利用案内、健康福祉課より健診のお知らせ、栄養士のワンポイント・食育のお知らせ等の子育て情報紙を発行し、未就園児のいる世帯に手渡し又は郵送で配布している。 <p>【育児相談】 月～金曜日：151件</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育てひろばの開催時や園庭開放時に保育所入所、一時預かり、子育てについて（排泄、食事、歯、発達等）の相談に対応している。 電話相談を行い、内容によっては健康福祉課（保健師）につないでいる。 		

(備 考)

2) 子ども会・スポーツ少年団活動支援	予算額 647 千円	決算額 647,000 円
---------------------	---------------	------------------

(現在の実施状況)
四万十町子ども会とスポーツ少年団が相互に連携し、行っている活動に対して支援を行った。

【主な活動】

- ・ 子ども会ソフトボール大会 : 県内から8チームが参加
- ・ 山・川・海ソフトボール交流大会 : 県内から8チームが参加
- ・ 子ども会新人ソフトボール大会 : 県内から5チームが参加
- ・ 四万十町子ども会連合会駅伝大会 : 16チーム(窪川地区の小学生)が参加
- ・ 鳴子踊り(台地祭り) : 2チームが参加

(備 考)

3) 青少年育成事業	予算額 1,185 千円	決算額 1,008,421 円
------------	-----------------	--------------------

(現在の実施状況)

- ・ 夏の工作教室 令和4年 8月 6日・7日
児童生徒47名 保護者21名
- ・ 料理教室 : 令和4年10月23日
児童生徒15名 保護者9名
- ・ 冬の工作教室 令和4年12月10日・11日
児童生徒30名 保護者14名
- ・ 銭天堂人形劇 令和5年 1月16日
午前の部 : 408名(町内全小学生・教員)
午後の部 : 350名()

※ 本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定どおり実施できなかった。

(備 考)

IV 少年非行の早期発見と早期指導

1) 青少年育成補導(青少年育成補導推進事業)	予算額 9,923 千円	決算額 9,434,206 円
-------------------------	-----------------	--------------------

(現在の実施状況)

1. 四万十町少年補導センター

(1) 職員等

- 所長 1人(兼務/会計年度任用職員)
- 次長 1人(兼務/町教育委員会事務局職員)
- 補導教員 1人(県教職員)
- 専任補導員 3人(窪川地区:1人、大正・十和地区:2人/会計年度任用職員)
- 補導員 46人(任期:令和4年4月1日~令和6年3月31日)

〔内訳〕 窪川地区：26人、大正地区：10人、十和地区：10人)

(2) 主な活動 (令和4年度)

- ・ 定例補導 早朝、夕方、夜間、列車補導 (定期的に実施)
- ・ 特別補導 各種イベント、夏祭り等に合わせて実施。
回数等 窪川地区 : 76回 (263人)
大正・十和地区 : 56回 (325人)

(3) その他の活動

防犯教室、情報モラル教室、児童生徒指導教員連絡会、運営協議会、少年補導員総会、西部地区補導育成センター連絡協議会等。(四国少年補導センター連絡協議会は中止)

2. スクールガード・リーダー事業

各担当地区内の小学校と連携し、登下校時に巡回することによって学校内・外や通学路の安全確保、学校への助言等を行っている。

スクールガード・リーダー数 : 3人 (窪川地区 : 2人、大正・十和地区 : 1人)

- ・ 窪川小学校、川口小学校、米奥小学校、七里小学校
- ・ 東又小学校、仁井田小学校、影野小学校、興津小学校
- ・ 田野々小学校、北ノ川小学校、昭和小学校、十川小学校

(備考)

V 各種関係機関・地域等との連携

	予算額	決算額
1) 放課後子ども教室	30,874 千円	30,068,947 円
(現在の実施状況)		
以前から、仁井田小学校、影野小学校、七里小学校、米奥小学校、窪川小学校、窪川小学校 (旧口神ノ川小学校)、川口小学校、東又小学校、田野々小学校、北ノ川小学校、十川小学校、昭和小学校の11校区 (12ヶ所) で放課後子ども教室を実施している。 登録児童数 : 283人 登録指導者数 : 114人		
(備考)		

	予算額	決算額
2) 二十歳の集い (旧成人式)	517 千円	504,129 円
(現在の実施状況)		
民法の改正に伴い、成年年齢が18歳となったが、令和3年度に実施した高校生を対象としたアンケートの結果、本年度からもこれまでと同様に年度内に20歳になる (なった) 方を対象として「二十歳の集い」を開催することとした。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が心配される状況にあったが、感染防止対策を徹底し、次のとおり実施した。 実施日 : 令和5年1月2日 実施場所 : 窪川四万十会館 出席者数 : 101名 (対象者 119人)		

実施内容 : 式典、四万十町特産品抽選会、四万十町 PR 動画の上映 事前準備 : 二十歳の集い実行委員会 実行委員 : 4人 開催回数 : 5回開催
(備 考)

⑥ 地域・家庭・関係機関等との連携活動充実

I 子ども・家庭の生活習慣の確立

1) 地域の子育て力強化事業	予算額 100 千円	決算額 20,000 円
(現在の実施状況) 地域の大人と子どもが、顔の分かり合える関係を築きながら、子どもたちが地域に誇りを持ち、また、活動を支える住民にとっての元気の源となるよう、次の勉強会を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域・家庭の子育て勉強会（講演会） 1月21日 会場 : 米奥小学校 『子育てのレシピ～お子さんとの、いい関係づくり～』 講 師 : 久武夕希子（特別支援教育士・TOMO はうす代表） 参加者 : 児童、保護者、地域の方 計17名 		
(備 考)		

II 家庭・地域の教育力の向上

1) 学校支援地域本部事業（地域学校協働本部）	予算額 3,305 千円	決算額 2,757,659 円
(現在の実施状況) 学校支援地域本部事業（地域学校協働本部）の状況 平成28年度開設 : 窪川小学校、仁井田小学校、東又小学校 平成29年度開設 : 北ノ川小・中(小中で本部設置)、昭和小学校 平成30年度開設 : 影野小学校、七里小学校、米奥小学校、川口小学校、興津小学校、田野々小学校、十川小学校、十川中学校 令和 2年度開設 : 窪川中学校、大正中学校 各校において、地域と学校が協働し、地域ぐるみで子どもを見守り育てる環境づくりを行っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 読み聞かせや環境整備等に力を入れて取り組んでいる。 ・ 全ての協力者（地域、保護者等）に保険を掛け、安全安心な取組を推進している。 		
(備 考)		

⑦ 学習環境の向上

I 拠点となる施設の拡充等

1) 生涯学習拠点施設の活用	予算額 220,470 千円	決算額 217,047,015 円
----------------	-------------------	----------------------

(現在の実施状況)

【文化施設】 (年間利用人数) : 施設概要等

- ・ 窪川四万十会館 (9, 323人)
町民の明るく豊かな文化生活に寄与し、文化事業の推進その他の催物の用に供するための施設。講演会やコンサート等の文化活動を行っている。
- ・ ふるさと未来館 (3, 647人)
町民の主体的参加と自由な発想による住民主体の地域づくりを支援し、その効果が広く地域に波及していくことを目的とした施設。住民のコミュニティー活動を行っている。
- ・ 図書館本館 (15, 410人)
イベント開催により、入館者数は前年度から577人増加(前年比103%)したが、個人貸出し利用者数前年比96%、個人貸出冊数前年比94%と減少した。団体貸出については、利用冊数が前年比104%とほぼ横ばいとなっている。
- ・ 図書館大正分館 (7, 488人)
入館者数、前年比99%個人貸出冊数前年比98%とほぼ横ばい。団体貸出冊数は旧小鳩保育所へのサテライト貸出の影響で、6,286冊(前年比193%)と倍増している。
- ・ 美術館 (362人)
作品点検のため約8ヶ月休館したことにより、入館者数が前年比39%となっている。

【体育施設】 : 施設概要

- ・ 窪川運動場
町民の体育の普及振興等を図り、心身の健全な発達に寄与するための施設。若者から高齢者がグラウンドゴルフ・サッカー・テニス・野球等の社会体育活動を行っている。
- ・ 勤労者体育館
町民と町内の事業所に働く勤労者の体力増進と勤労意欲の向上を図るための施設。町内で働く勤労者がバレーボール、卓球などの社会体育活動を行っている。
- ・ B&G海洋センター
町民の体育の普及振興等を図り、心身の健全な発達に寄与するための施設。若者から高齢者が水泳、バレーボール、筋力トレーニング等の社会体育活動を行っている。

(備考)

